日本共産党 前杉並区議会議員
X（旧 Twitter）@akikocurry
ブレずに平和。
まっすぐ、くらし。
のがき
野垣あきこと まちづくりカフェ
HP はコチラ
2026年10月21日 №266
連絡先 090-9293-8710 ご相談もどうぞ！

第3回杉並区議会定例会

地震・豪雨などの災害から区民の命を守る対策強化を！

杉並区議会第３回定例会が閉会しました。党区議団は本会議で、「震災・水害対策について」一般質問しました。

避難所の改善、災害関連死防止、道路冠水対策など

近年、地震や豪雨が相次ぐなか、建物倒壊や火災への備えだけでなく、猛暑下での避難生活や道路冠水など、災害発生後に区民の命を守るための対策強化が急務となっています。

猛暑や停電時にも命を守れる避難所へ

７月の熊本地震では、猛暑の中で避難生活が長期化し、熱中症対策が大きな課題となりました。質問では、杉並区の６５カ所の震災救援所について、大規模停電時にも空調を確保できるか確認し、蓄電池やスポットクーラーなどの対策強化を求めました。

区は、全ての震災救援所に空調設備があるものの、停電時に体育館などの大型空調を稼働させるだけの発電量はなく、今年度配備するスポットクーラーは蓄電池などで概ね４・８時間稼働できると答弁。近年の猛暑を踏まえ、震災救援所の暑さ対策をさらに強化する必要があるとの認識を示しました。

▲一般質問録画配信

質問全文▼

災害関連死を防ぐため総点検を

２０１６年の熊本地震では、死者の８割が災害関連死とされています。地震や火災から助かった命を避難生活で失わせないため、空調、電源、トイレ、寝床、食事、衛生、医療・福祉、健康観察など、震災救援所の生活環境を横断的に点検するよう求めました。

区は、災害関連死をなくすことを重要課題の一つと位置付け、避難生活の環境改善を着実に進める必要があるとし、改善が必要な取組を継続的に点検し、今後改定する地域防災計画などに反映していく考えを示しました。

道路冠水情報を区民へリアルタイムで

今年８月の千葉豪雨では、道路やアンダーパスの冠水で車両が水没し死者が発生しました。杉並区でも８月２２日の大雨で道路冠水が発生しています。質問では、冠水センサーの増設とともに、アンダーパスなど危険な場所への警告灯や通行規制など、冠水時に車両の侵入を防ぐ仕組みを求めました。

さらに、区が冠水センサーで把握した情報を水防活動だけに使うのではなく、今どこが冠水しているのかを区民にリアルタイムで知らせる仕組みを提案しました。

区は、冠水センサーの増設を進めるとともに、住民からもリアルタイムで情報提供を求める声があるとして、道路冠水情報を速やかに区民へ提供できるよう、情報の正確性や発信方法を含め検討すると答弁しました。



船橋市で高架下に取り残された車（しんぶん赤旗より）

まちづくりに住民の声を

無電柱化推進方針の改定 杉並区に住民意見を送ろう！

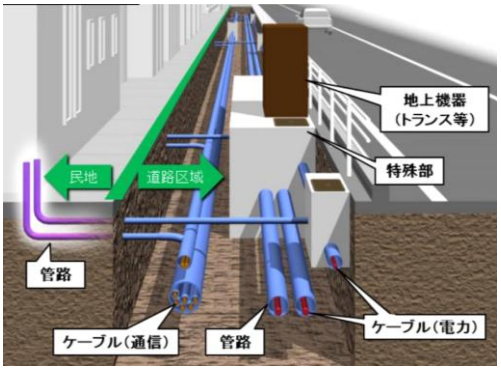
生活道路やまちづくりと合わせ無電柱化を進める

杉並区は、安全な歩行空間の確保、防災や景観の観点から無電柱化推進方針を策定しています。今年度の方針の改定にあたり、現在、方針案へのパブリックコメントを募集しています。

無電柱化の整備の手法

無電柱化の整備手法としては、地中化、軒下配線方式、裏配線方式などがあります。また、電柱に設置されていた地上機器（トランス）を、代替となる場所に設置する必要があります。

２０１３年にモデル的に整備された永福北口商店街では、機器を街路灯に添架しており、ソフト地中化方式と呼ばれます。



▲地中化（電線共同溝）のイメージ
（現行の区・無電柱化推進方針より）

無電柱化の現状と課題

区は、２０１７年に無電柱化推進方針を策定し、生活道路の無電柱化についても計画を進めてきました。区が管理する道路６７７㎞のうち、無電柱化が完了しているのは約６㎞です。

現行方針で位置付けられている、荻窪駅南側から環八までの杉並保健所前の区道（６８０ｍ）は、入札が終わり次第、工事説明会が行われる予定です。

整備には１キロあたり５・３億円の費用がかかるため、国や都の補助金を活用します。

新たに整備する路線等

改定のポイントは、①災害拠点病院までの路線、②防災上重要な道路への電柱の新設制限を拡大、③まちづくりと連携し路線単位から面的整備へ、の３点で、方針期間は２０３０年まで。

新たに整備する路線として、

◆桃井はらっぱ公園東側（早稲田通り～青梅街道）
◆阿佐ヶ谷駅北東地区
◆西武新宿線沿線地区

を位置付けています。阿佐ヶ谷と西武線沿線は路線ではなく、「面的整備」としています。

地区全体の一体的な整備を基本とし、今後のまちづくり等を踏まえ、整備時期や範囲を検討する地区として、西武線沿線地区が位置付けられたことは重要です。西武新線野方～井荻間の地下化と合わせ、下井草地域への適用も期待します。

方針案と詳細は以下からご覧になれます。

パブリックコメントを送ろう

改定案について、区は１０月３１日までパブリックコメントを実施します。以下の入力フォームから、郵送、ＦＡＸは左から。

〒１６６-８５７０
杉並区阿佐谷南１-１５-１
ＦＡＸ ３３１６-２４７０

原田あきら都議事務所

弁護士による法律相談

毎週 水曜・金曜
14時～16時



会場 日本共産党杉並地区委員会
高円寺南3－30－12
電話 03-3314-5551
（予約不要、先着順に受付）

あきこの部屋

先週金曜日の昼過ぎ、スマホから警告音とともに緊急地震速報が流れ、８分後に「取り消し」という速報が流れた。まるで「この世の終わり」のようなあの警告音は、やたら不安を掻き立てるので絶対に心臓に良くない。でも本当に大地震が来たらそんなことは言ってはいられない…

今回のように地震速報が「取り消し」になったという事例が過去にあるのだろうか。気象庁はシステムが誤認したことが原因と話すが、高性能ＡＩやサイバー攻撃が問題になっている今、誰もが憂慮せざるを得ない。

技術の発展により地震や天気を予測したり、それらを一瞬で多くの人に周知することが可能となった。一方で、システムが故障したり、制御不能となる可能性も充分にあるという事実を見せつけられた一件ではなかろうか。高度に発達した資本主義社会は、「神の見えざる手」も通用しなくなるということだろう。